

政策・施策・事業整理票

研究振興局

政策

政策目標	8 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化
概要	科学技術イノベーションを支える人材の質向上と能力発揮を促すとともに、イノベーションの源である多様で卓越した知を生み出す基盤を強化する。



施策

※平成29年度事前分析表より転記

施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのか分かるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。

施策目標	8-2 イノベーションの源泉としての学術研究と基礎研究の推進
施策の概要	持続的なイノベーションの創出のためには、イノベーションの源である多様で卓越した知を生み出す基盤の強化が不可欠である。 学術研究・基礎研究は、イノベーションの源泉たるシーズを生み出すとともに、新しい知的・文化的価値を創造し、社会の発展に寄与するものであるため、学術研究・基礎研究を長期的視点の下で推進する。
達成目標1	学術研究に関する科学研究費助成事業(科研費)について、人文学・社会科学から自然科学までのあらゆる研究分野への幅広い助成を行うとともに、挑戦性、総合性、融合性及び国際性の観点から、制度改革を着実に進めることにより、優れた研究成果の創出に寄与する。また、研究成果の持続的創出のための競争的研究費改革を着実に進める。【経済・財政アクション・プログラム(以下、AP)に挙げられた取組に関連する達成目標】
達成目標2	我が国の研究力強化を促進するため 、大学・大学共同利用機関における共同利用・共同研究体制等を活用した独創的・先端的研究の推進や研究環境の整備を行うとともに、 世界水準の優れた研究活動を行う大学群を増強する。
達成目標3	高いレベルの研究者を中核とした研究拠点の形成を目指す構想に集中的な支援を行い、システム改革の導入等を促すことにより、世界第一線の研究者が集まってくるような、優れた研究環境と高い研究水準を誇る「目に見える拠点」を構築し、その優れた成果の普及・展開を目指す



事業

※平成30年度レビューシートより転記

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているのか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

事業名	研究大学強化促進事業		
事業の目的	我が国の大学等が、 研究マネジメント人材(リサーチ・アドミニストレーターを含む)群の確保や集中的な研究環境改革等の研究力強化の取組を実施するために必要な補助を行うこと により、世界水準の優れた研究活動を行う大学群を増強することを目的とする。		
事業概要	本事業は、近時の学術政策、大学政策及び科学技術政策の一体的改革の方向性を踏まえ、 大学等が自らの研究活動の強み・弱みや課題等の状況分析に基づき、策定した研究力強化方針及びその取組を支援する補助事業(定額補助) である。 今後、事業の進捗状況のフォローアップを通じて、各大学等の大学改革と研究環境改革の一体的な推進を加速するとともに、平成29年度は中間評価を実施し、取組の評価を通じて各大学等全体の研究力の更なる強化・発展を図る。		
アウトカム	①	定量的な成果目標	「研究大学強化促進事業」支援対象機関における、当該事業及び自主財源等によるURA 総配置数に対する自主財源化率を100%とする。
		成果指標	「研究大学強化促進事業」及び自主財源等によるURA 配置数からみた研究環境改革等の推進状況(URA自主財源支出人数/総配置数)
	②	定量的な成果目標	国際共著論文割合を10%増(全機関平均)にする。
		成果指標	国際共著論文割合(国際共著論文数/総論文数)
	③	定量的な成果目標	国際共著論文割合(直近5力年の平均値)38%の機関を5機関にする。
		成果指標	国際共著論文割合
アウトプット	(1)	本事業による研究支援人材(リサーチ・アドミニストレーター等)の配置数	
	(2)	各機関の戦略に基づき、研究環境改革の取組を実施している機関数	
本事業の成果と上位施策との関係	研究マネジメント人材(リサーチ・アドミニストレーターを含む)群の確保や集中的な研究環境改革等を行うことにより、学術研究の振興に寄与。		